



あいするためのところを かみさください！

かみよ、わたしのうちにきよいところをつくり
あたらしくたしかなれいを、さずけてください。
(しへん、5 1しょう1 2せつ)



たくさんのひとがイエスさまをしり、はなしをききたいです。かれがたいせつなひとで、しはいしているひとからかいほうしてくれる、ずっとまっていた、ちからあるおうだとわかったからです。

でもイエスさまは、ちからでしはいするのではなく、たすけるため、うけいれるため、みみをかたむけるため、つかえるためにきたということをせつめいします。

でもそのためには、きよく、しょうじきなところで、イエスさまのみことばをきかなくてはなりません。かみさま、あいすることができ、きよいところをください。とねがひましょう！くるしいなかでも、このよをあいするつよさをくださるでしょう。



あるひ、がっこうでやすみじかん、おかあさんがじゅんぴしてくれたおやつをたべようとしたとき、めをあげてみると、ひとりのともだちがなにももってきていなくて、かなしそうにしているのに、きづきました。

ぼくはしらないうりをしてたのに、ちがついてきて、もし、のこっていたらわけてくれないかとききました。ぼくはすぐ、だめといいました。おなかがいっていたから！そしたらなにもいわずに、むこうにいってしまいました。

ぼくはもうたべられなくなりました。そのともだちをよんでおやつをわけてあげました。ともだちはぼくにたくさんありがとうといってたけど、ぼくのころはそれよりもともだちのなかのイエスさまをあいせたので、しあわせでした。